

防災・減災を進める取り組み

新たな施設整備により災害への安全性を高めるとともに、既存施設の機能強化や住民の避難のための支援などに取り組んでいます。

既存施設の機能強化（河道掘削・樹木伐採）

河川に堆積した土砂の掘削や川岸の樹木の伐採を行うことで、河川の流れをスムーズにし、氾濫を防ぎます。



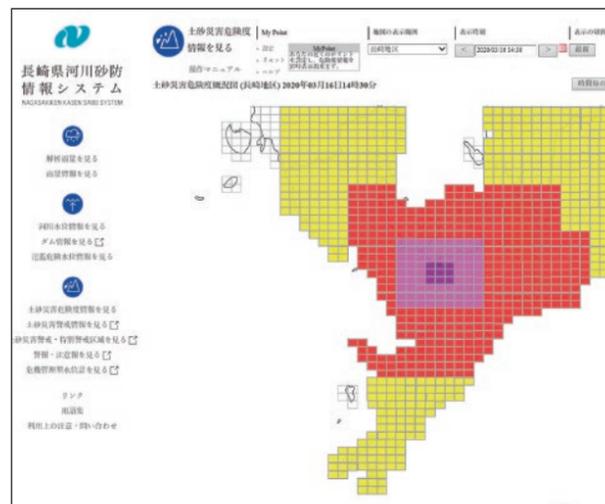
※矢印は川の流れる方向を示す

住民の避難のための支援

防災情報の提供

長崎県河川砂防情報システム（NAKSS）^{ナックス}では、河川の水位や雨量の情報とともに、土砂災害の危険度情報の提供も行っています。パソコンやスマートフォンで確認できますので、ハザードマップと併せて活用し、早期避難ができるよう、日頃から情報の収集を心がけましょう。

大雨警報（土砂災害）の危険度分布



長崎地区を表示した場合（NAKSS）

土砂災害警戒情報配信メール

土砂災害の危険度が高まった時に発表される土砂災害警戒情報をメールでお知らせします。

登録は、bousai.nagasaki-pref@raidan.ktaiwork.jpまたはQRコードから空メールを送信



要配慮者利用施設への支援

河川の浸水想定区域内や土砂災害警戒区域^{※1}内にある学校、病院、老人ホームなど、要配慮者利用施設^{※2}には避難確保計画の作成が義務づけられています。県では作成促進のため、市町による施設を対象とした講習会開催などを支援しています。

※1 県が指定する土砂災害が発生する恐れの高い区域

※2 洪水時の避難にあたり、配慮を必要とする方が利用する施設

特集 災害を防ぎ、災害に備える

大雨や台風、地震などによる自然災害はいつどこで起きるかわかりません。災害に備えて県が進めている対策や取り組みについて紹介します。



令和元年7月21日 三根川の増水（対馬市）

対応 河川に堆積した土砂の撤去を行っています



令和元年8月27日 高野地区地滑り（松浦市）

対応 災害関連緊急地滑り対策事業で地滑り対策を行っています

近年、全国的に台風や大雨による大規模な自然災害が発生しています。昨年は本県においても大雨特別警報が2度発表され、各地で記録的な大雨となり、避難指示や避難勧告が発令されました。

このような自然災害は、時として人命や財産、暮らしに大きな被害を及ぼします。そこで県では、河川の氾濫や土砂災害を防ぐ施設を整備するとともに、河川水位や雨量の情報提供や危険箇所の周知などにより、防災・減災を進めるため、ハードとソフトの両面から取り組みを行っています。

施設整備による防災対策

洪水・濁水対策

大雨による河川の氾濫を防ぐため、河川整備とダム建設を組み合わせた洪水対策を行っています。現在、川棚川では、洪水被害の軽減と佐世保市の安定水源の確保を目的として、石木ダムの建設を進めています。



石木ダム完成イメージ（川棚町）

土砂災害対策

大雨が主な原因として発生する土石流や地滑り、崖崩れを防ぐことを目的として、砂防ダムや急傾斜地対策など地域に応じた対策施設を整備し、災害が発生するのを防ぐ事業を行っています。



けやき台地区急傾斜地崩壊対策事業（長崎市）

いざという時に備える

自分や大切な人の命を守るためには日頃から災害に備えておくことが大切です。災害が起きた際、慌てず避難ができるように、できることからすぐ始めましょう。

自分や家族でできる備え

- 非常用持出品の準備
- ハザードマップで居住地域の危険箇所や避難場所を確認
- 市町が行う避難訓練や研修への参加
- 家具の固定方法や配置場所の見直し



非常時持ち出し品をチェック!

自宅が被災した時は、安全な場所に避難し、避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

～非常時持ち出し品の例～

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水(1人1.5リットル程度) | <input type="checkbox"/> 処方箋の控え |
| <input type="checkbox"/> 最低3日分の非常食(そのまま食べられるもの) | <input type="checkbox"/> 持病などの薬 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品(預金通帳、印鑑、免許証・保険証など) | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(発電や充電できるもの) | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ、予備電池 | <input type="checkbox"/> 毛布 |
| <input type="checkbox"/> ヘルメットなど頭を保護できるもの | <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット |
| <input type="checkbox"/> 厚手の手袋(革製など丈夫な素材のもの) | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 万能ナイフ、ライター、マッチ | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> 衣類(下着、靴下、長袖、長ズボン) | |
| <input type="checkbox"/> 救急用品(消毒薬、ばんそうこう、ガーゼなど) | ※乳児のいる家庭は、ミルク・紙おむつ・哺乳瓶なども用意しておきましょう |



自分や家族に必要なものを準備しておきましょうね!

ハザードマップを確認しましょう

河川の浸水の恐れのある区域や土砂災害警戒区域、避難所などの情報を分かりやすく表示しています。詳しくは、お住いの市町へお問い合わせください。

洪水ハザードマップ

長崎県 洪水ハザードマップ 検索

土砂災害ハザードマップ

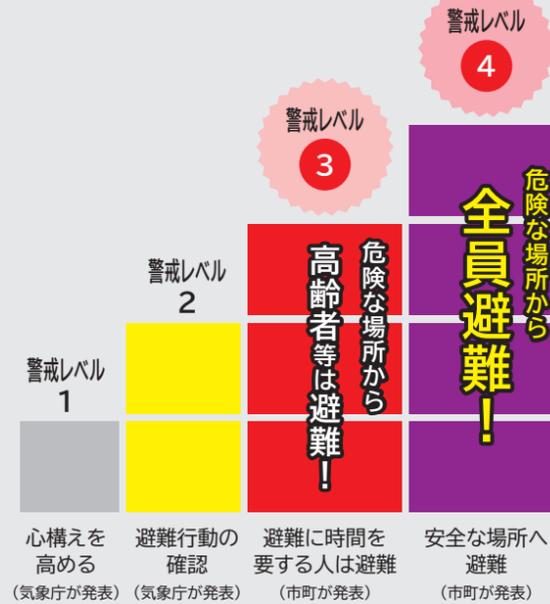
長崎県 土砂災害ハザードマップ 検索

日頃の備えが一人一人の命を守る

警戒レベルを正しく理解し、逃げ遅れゼロへ

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生する恐れがある時、住民が自主的に避難行動を取ることができるようにするため、国や市町が5段階の警戒レベルで防災情報を提供します。警戒レベルに応じた行動を取り、安全を確保してください。

警戒レベルについて



警戒レベル5 既に災害が発生している状況です。命を守る最善の行動を取ってください。

警戒レベル4 全員避難 全員速やかに避難先へ避難してください。

警戒レベル3 高齢者等は避難 避難に時間を要する人(高齢者、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えてください。

警戒レベル2 避難に備え、ハザードマップなどで自分の避難行動を確認しましょう。

警戒レベル1 災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル3では避難に時間を要する人、警戒レベル4は危険な場所にいる全員が避難してください。また、警戒レベル5が出ても、まだ避難できていない場合は、自宅内で少しでも安全な部屋に移動するなど、命を守るための最善の行動を取ってください。

地域の力「自主防災組織」

大規模な災害が発生した場合、消防や警察などの救援がすぐには得られない可能性があります。そこで大きな力を発揮するのが自主防災組織です。自主防災組織は、住民一人一人が、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもとに地域コミュニティで協力して防災活動を行います。自分たちの地域を自分たちで守るため、積極的に参加し、災害に強い地域づくりを進めましょう。

自主防災組織の活動

平常時

- 防災知識の普及・啓発
- 地域内の安全点検
- 防災訓練
- 防災資機材の整備

災害発生時

- 避難誘導
- 初期消火活動
- 負傷者の救護
- 救出・救助活動



消火訓練の様子